

所管部長等名	健康福祉部長 上田 淑哉
所管課・係名	国保ねんきん課 医療給付係
課長名	小林 真二

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	一般事務経費(結核・精神レセプト調査業務委託、レセプト点検業務委託)			「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名
会計区分	国民健康保険特別会計			
予算の事業名	一般事務経費			
事業コード(大-中-小)	55	01	04	
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第1章 誰もがいきいきと暮らすまち		
	施策の大綱(節)【政策】	③ 健やかに暮らせるまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	① 保健・福祉・医療の連携強化		
	具体的な施策と内容	(4) 医療保険制度の適切な運営		
根拠法令、要綱等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律			
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営 ● 一部委託 <input type="radio"/> その他()		<input type="radio"/> 全部委託)	法令による実施義務 (該当欄を●) ● 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前		終了年度
				未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)
	内容 (手段、手法等)	八代市国民健康保険医療費	結核・精神対象者の受診内容を積み上げた資料を国に提出し、特別調整交付金の申請を行う。 レセプト点検を実施することで、医療機関等に対して適正な診療・請求等を促すとともに、国保医療費の適正化を図る。
事業開始時点からこれまでの状況変化等	市町村国保財政の厳しさが増し、保険財政の健全化を迫られている現状から、レセプト点検の必要性が高まってきている。		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	5,930	4,559	5,969	5,969	5,969	5,969	
	事業費(直接経費)	千円	4,530	3,159	4,569	4,569	4,569	4,569	
	財源内訳	国・県支出金	千円						
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他(一般会計繰入金)	千円	3,804	2,645	3,604	3,604	3,604	3,604
	一般財源	千円	726	514	965	965	965	965	
概算人件費(正規職員)	千円	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400		
正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20		
従事者数	人								
臨時職員等従事者数	人								

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
				①	内容点検効果率	率が高いほど内容点検の効果が上がっていると考えられるため指標として設定した。(内容点検効果率:内容点検により減額した額を、診療報酬の保険者負担総額で除した数字)	%	0.28	集計中 8月中判明
②	(国)特別調整交付金結核・精神分の実績額	実績額が高いほど結核・精神レセプト調査業務の効果が上がっていると考えられるため指標として設定した。	千円	89,019	110,066	110,066	110,066	110,066	110,066

(記述欄)※数値化できない場合

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A A A	(現状分析等) 国保被保険者数及び経済状況悪化による所得の減少の一方、高齢化や医療技術の進歩による医療費の増加に伴い、国保財政は年々厳しさを増している現状から、医療費適正化推進の必要性は今後ますます高まり、各保険者が主体となって引き続き取り組むべき事業である。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、 事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている		
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していま せんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない		
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	(現状分析等) 内容点検効果率の目標値も達成しており順調に推移している。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき		
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A A A A	(現状分析等) レセプト点検については専門的な技術・知識を必要とするため、既に民間事業者 に委託をしており、また業務の性質上、他事業との統合・連携は不可能である。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である		
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である		
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき		

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input checked="" type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) 既に民間委託により実施し、効率化を図っている。																					
改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果 点検効果の維持・向上を図るため、委託事業者の指導に努める。	改革改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

外部評価の実施	無	実施年度
---------	---	------

決算審査特別委員会における意見等	(委員からの意見等)
------------------	------------